

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572709558		
法人名	株式会社 和幸		
事業所名	グループホーム寿敬庵		
所在地	秋田県横手市十文字町腕越字山道端79-11		
自己評価作成日	平成29年3月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田県秋田市下北手松崎字前谷地142-1		
訪問調査日	平成29年3月17日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成16年に1ユニット寿敬庵棟・平成18年に隣に1ユニット江洋館棟を設置しました。ご利用者様のその人らしさを引き出して支援しています。また、建物の周りには畑があり、出来る方には畑仕事を手伝って頂いております。ご利用者様には、家庭的な雰囲気の中でゆっくりと過ごして頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

これまでの取り組みを見直す中で理念についても職員一同で十分話し合い、利用者の生き生きとした暮らしを支えていくために、職員がやりがいの持てる環境づくりをし、理念を活かした生活が実践できるように努力されています。ホームの機能を地域に開放し、広く理解を得ると共に繋がりを深めていこうと積極的に取り組まれ、防災やホームの運営に地域のコミュニティーも活用できるよう検討されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~53で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
54	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	61	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
55	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	62	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
56	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	63	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
57	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	64	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
58	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
60	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を元に、生活面・体調面と安心して暮らして頂けるような支援にと努めており、共有については、定期的開催しており職員会議で確認・見直しをして実践に結びつけている。	年度毎に理念の検証、見直しが行われ、実践に繋げていけるよう努力されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	積極的にボランティアの受け入れを行い、会議やイベント等には、地域住民の方達も参加して頂き交流を図っている。	町内会長である代表を通して地域の方々とさまざまな形で交流があります。ボランティアや祭り神輿がホームを訪れ、畑を貸し出して地域の方が訪れた際には一緒にお茶をいただいたりされています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	運営推進会議の際、行政・地域住民・ご家族様に参加して頂き、ご利用者様の状況の理解、活動内容を伝えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の際、意見交換をしながら、アドバイスを頂き、サービス、運営の向上に繋げている。	ホームの現状、取り組みを報告して参加者から意見を出していただき、サービスの向上に繋がっています。	固定メンバーの他、テーマに応じて地域に精通した方の参加を依頼し、事業所や地域の課題を共に解決する取り組みを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の際、市町村担当者の方にも参加して頂き、報告・意見交換を行っている。また、事業所の担当者が都度市役所の方へ足を運び連携をとっている。	認知症カフェ開催について相談に対応していただく等、協力関係が築けるよう取り組まれています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置し、定期的に勉強会を開きながら、正しい理解に努めている。	身体拘束廃止委員会、研修を通じて職員の理解を深め、拘束をしないケアを実践されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待委員会を設置し、定期的な勉強会を開きながら、正しい理解を持つと共に、防止対策として職員同士のコミュニケーション、良い雰囲気職場作りに努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	過去に成年後見制度を利用されていた方がおり、制度については理解しているが、話し合いの場が少ない為、今後積極的に取り組む必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居される際にゆっくりと説明し、質疑応答をしながら納得して頂いている。納得された時点で、契約書に割り印して頂き、お互いに保管している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見要望箱をホームに設置している他、直接ご家族様より、相談や要望が出た際にも事務所全体で話し合いをし、運営に反映させている。	面会時やアンケートを利用して要望を引き出す働きかけをされています。	家族アンケートを活用し、家族が抱える課題を共に解決できる取り組みを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で、意見や提案が出た際には事務所全体で話し合い、反映して頂けるよう代表者に伝えている。	勤務体制等、職員の意見や提案を取り入れて運営に反映させています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	過去に成年後見制度を利用されていた方がおり、制度については理解しているが、話し合いの場が少ない為、今後積極的に取り組む必要がある。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日々のケアを通して、良いサービスが出来るように職員へ研修を勧め、レベルアップに繋がるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他グループホームとの勉強会や情報交換を定期的に行い交流を図っている。また、他グループホームとの人事ペアリングにより、長所を取り入れサービスの向上に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談の際、ご本人らしく生活できる様に要望等を聞きコミュニケーションを図りながら、安心できるような関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	困っていること、要望等を理解し、家族様ともコミュニケーションを図りながら、意向に沿える様努めている。		
17		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に暮らしている中で、お世話させて頂くという気持ちを持ちながら、不安にならない様に傾聴し、一人一人に合わせた支援に努めている。		
18		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様の状況や、要望等は都度伝えている他、2か月に1度どのように過ごされているかお手紙にて報告し安心して頂けるよう努めている。		
19	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	可能な限り、外出や電話での会話等をして頂き、昔の思い出や今までの関係が途切れない様援助している。	生活習慣を尊重してお盆、お正月を家族と過ごしたり、在宅時に行っていたことを続けたいという思いに沿うことで本人を支えることができ、家族との関係や思いを大切にした支援が行われています。	
20		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人を理解し、トラブルにならない様な良い環境作りに努めている。トラブルになってしまった場合は直ぐに仲裁しお互いの意見を取り入れながら今後につなげている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や帰宅等により終了しても、お見舞いへ出向いたり、家族様からの電話での相談を受け入れたりと関係性を大切にしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
22	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今までの暮らし方を理解し、ご本人様の要望を聞き入れながら意向に沿えるように努めている。	面会時に家族から聞いた話や利用者との日常会話から知り得たことがホームでの暮らしに反映できるよう取り組まれています。	
23		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様や家族様より、これまでの情報やバックグラウンドを参考にし、暮らし方の把握できるよう努めている。		
24		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	情報やご本人様の希望を元に、実際の生活を見ながら自立と、介助が必要な部分の把握に努めている。		
25	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様の要望、ご家族様の要望、生活の中での情報を元にケアカンファレンスにてアイデアを出し合っている。	担当職員が中心となってカンファレンスを行い、意見を出し合って見直しに繋がっています。	日常の記録が介護計画に反映される工夫を期待します。
26		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	食事・排泄等、一人一人の情報を記録し職員間で共有をしながら、ケアプランに繋がっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での外食や買い物、出張理髪、訪問歯科等の利用をして、安全で豊かな暮らしの支援に努めている。		
28	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、ご本人様・ご家族様の希望を大切にし納得のいく医療を受けられる様に支援している。かかりつけ薬局との関係を築きながら適切な医療を受けられる様支援している。	利用者それぞれのかかりつけ医で受診されており、希望に沿った支援が行われています。	
29		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護師が週に1回健康チェックに訪れており、相談等を行い適切に受診している。		
30		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	定期的に面会する事で、安心して入院治療を受ける事が出来る様努めている。病院側も相談や情報交換する事により、早期に退院出来る様努めている。		
31	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期に向けた方針に関して、医師・訪問看護師・ご家族様等と話し合い、方針を共有してチームで支援に取り組んでいる。	希望に沿って対応されており、ホームで看取りをされています。状態に応じて医師から家族に説明していただき、看護師と連携を図りながら支援されています。	
32		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年1回の消防署主催の救命講習会に、全員参加する場を設けている。		
33	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防署立会の元、防災避難訓練を日中と夜間を想定し少ない人数でも対応できるように訓練している。	地域の避難場所として提供できることを伝え、備蓄食料をチェックし、浴槽に水を張って緊急時に備えています。	地域の方の協力を含めた避難体制や避難経路を定め、計画に基づいた訓練を重ねられることを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
34	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けに、十分に配慮し、危険な行動以外は否定せず、傷つかない様に支援に努めている。 個人情報の取り扱いにも細心の注意を心掛けている。	利用者それぞれに合った声のかけ方ができるよう配慮されています。居室内の排泄用品は保管場所を用意し、それとわからないように配慮されています。	
35		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望・要望を出来るだけ聞きだし、する事が出来る様傾聴し意思の尊重をしている。【買い物・外出】		
36		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者様にあったケアについて、常に考えご本人様のペースが保たれる様に心掛けている。		
37		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出の際、理容店へ送迎、出張してもらったり又は、ご本人様が着たい服と一緒に選び、意見と尊重した支援を心掛けている。		
38	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜や果物を取り入れて、目でも食事が楽しめるように心掛けている。又介護員と一緒に食事する事で食材・味付け・採れた場所の話などし、好みの把握に活かしている。	野菜の収穫や調理の手伝い等、できることをしていただくことで利用者の力が活かせるよう取り組まれ、職員がさりげなく声かけをしながら一緒に食事をされています。	
39		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考えて献立を決めている。 1日の水分摂取量を記録し、十分な補給が出来る様努めている。		
40		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師の指導で、ご本人様や出来る方には見守りし清潔が保持できる様、食後のケアの援助と定期的な義歯の消毒を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を付け、習慣・パターンを活かした声かけや誘導を行い、自立に向けた支援を行っている。	一人ひとりのパターンや状態を把握し、排泄用品の使用を工夫しながらトイレでの排泄を基本に支援されています。	
42		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便通の良い食事を提供したり、ラジオ体操等に参加して頂いたり等し予防に取り組んでいる。		
43	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の健康状態を把握し、入浴へのタイミングや本人の希望に沿った援助に努めている。	拒否される方が多いものの、その時の状態や気分に応じて、週2~3回入浴できるよう支援されています。車椅子の利用者も浴槽に浸かって入浴されています。	
44		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々のペースに合わせた声かけ、巡回を行い、安心して休んでもらえるように援助している。		
45		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全介護職員が確実に把握し、医師や薬局に相談できる状態にある。又、服薬の支援と症状の悪化防止に努めている。		
46		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の生活歴をしっかり把握し、家族様と一緒に行事へ参加して頂いたりして気分転換をして頂いたりしている。		
47	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ドライブや外食・買い物等、外に出る機会を作るように支援している。	墓参りや個別の買い物等、本人の希望に沿って外出できるように支援されています。季節の花見を楽しみ、畑仕事が得意な利用者は草取りも自分の仕事として生き生きと作業されています。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出や、病院受診の際など出来る限りご本人様が所持し、支払う事が出来る様に支援している。		
49		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	いつでもご本人様自らが、ご家族様へ電話等連絡出来る様に支援している。又、年賀状を書いて頂いたりし、ご家族様ご友人様とやり取り出来る様努めている。		
50	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の草花を配置したり、行事の写真を誰でも見られる様に廊下へ掲示したり等し、季節感を取り入れたり工夫している。	季節の花を活けることで利用者が季節を感じとることができ、家庭的な雰囲気も得られるように配慮されています。	
51		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール自分の席の他に、ソファやイスを何か所かに置いて、ご利用者様同士で思い思いに過ごせるような居場所作りを工夫している。		
52	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が居心地良く過ごすことが出来るよう、自宅等で使い慣れた物に囲まれ安心して生活できる様にして頂き、本人の動きやすさも考慮した環境作りに努めている。	本人の希望を聞いてベッドを移動したり、持ち物の配置を工夫して落ち着いて過ごせるようその人に合った環境づくりをされています。	
53		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差の無い床、廊下には手すりを設け、自立した歩行が出来る環境の整備に努めている。トイレや居室には、プレートを使用し分かりやすい様工夫している。		